



公益財団法人 宮城県対がん協会

ともしび

TOMOSHIBI



当協会の 特色

- 高い精密検査受診率と高い早期がん発見率
- 専門医療機関紹介
- 高い信頼性に基づく精度管理
- 一貫したデータ管理



写真：新乳がん検診車命名披露式の様子(特集記事P.5)

CONTENTS

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| ② 対策型胃がん検診について | ⑨ 対がん協会PR活動報告 |
| ④ 宮城県対がん協会の人工知能(AI)を活用した胃内視鏡検診 | ⑩ 乳がんについて知りましよう-プレスト・アウェアネスのすすめ |
| ⑤ すみれ披露式/リレー・フォー・ライフ、がん講演会のご案内 | ⑫ がん・生活習慣病健診オススメオプション |
| ⑥ がん征圧スローガン/事業所検診の紹介 | ⑬ 宮城県がん総合支援センターのご案内 |
| ⑦ 第37回黒川利雄がん研究基金贈呈式 | ⑭ ご寄付をいただいた法人・個人名簿 |
| ⑧ 2025年度がん教育事業 | ⑮ 継続寄付のお願い |

早期発見
早期治療

がん検診は
定期的!



グーチちゃん がん助くん

対策型胃内視鏡検診とは？

～胃がんから命を守るための「住民検診」を知ろう～

公益財団法人
宮城県対がん協会

がん検診センター所長
加藤 勝章



「地元の役所から胃がん検診のお知らせが届いたけれど、受けた方がいいのだろうか？」

そんな疑問を持ったことはありませんか。

胃がんは現在でも日本人に多いがんの一つですが、早期に発見できれば高い確率で治る病気です。しかし、早期の胃がんには自覚症状がほとんどありません。そのため、症状がないうちに発見し、治療につなげることを目的として行われているのが胃がん検診です。

胃がん検診は長年、胃エックス線検査(バリウム検査)が中心でした。しかし、その後の研究により、2014年の胃がん検診ガイドラインで、胃内視鏡検査にも胃がん死亡率を減少さ

せる効果があることが科学的に証明されました。胃内視鏡検査は、胃の内部を直接観察できるため、小さな病変や早期胃がんを発見しやすいという利点があります。一方で、出血などの偶発症が起こる可能性がわずかに高いため、受診間隔は2年に1回が推奨されました。これを受けて、2016年度から対策型胃がん検診として50歳以上の住民を対象に胃内視鏡検診の実施が承認され、現在では1年1回の胃エックス線検査と2年1回の胃内視鏡検査のいずれかを選択できるようになっています。近年、多くの自治体で胃カメラによる「胃内視鏡検診」が導入されています。

■「対策型がん検診」とは何か

がん検診には大きく分けて「対策型検診」と「任意型検診」の2種類があります。

対策型がん検診とは、「当該がんの死亡率を減少させること」を目的に、健康増進法という法律に基づいて市区町村が地域住民を対象に実施する公的がん対策です。国は対策型として胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がんに対するがん検診を推奨しており、それぞれ「死亡率を下げる効果がある」という科学的根拠に基づいた検診方法が採用されています。費用の多くは公費で負担されるため、地域によって差異はありますが、受診者は比較的少ない自己負担で受診することができます。

対策型がん検診の検査方法や対象年齢、受診間隔は科学的根拠に基づいて採択され、国の指針に定められており、検査の質を確保するために、国のチェックリストや関連学会のマニュアルなどに基づいて厳格な精度管理が行われています。

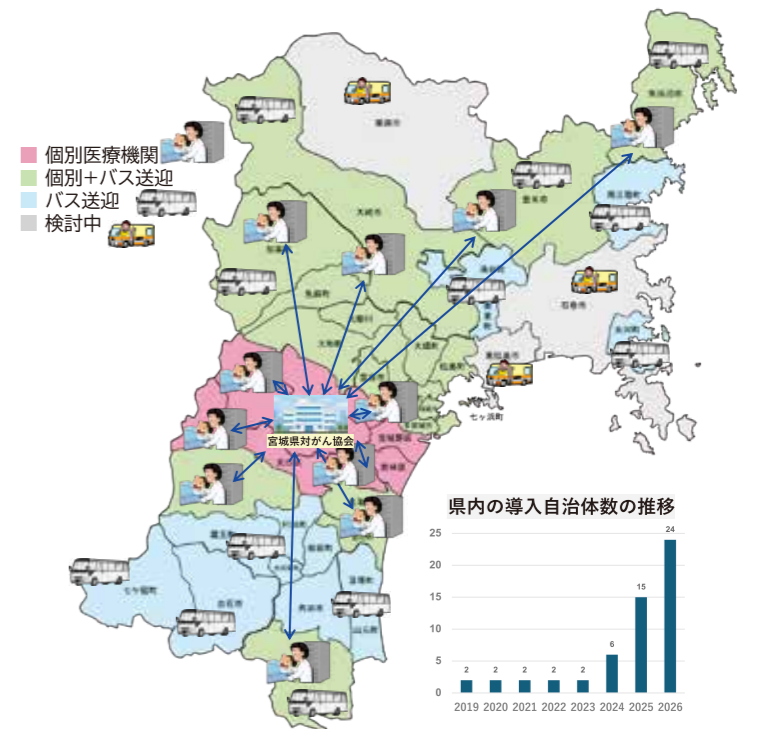
一方の「任意型検診」は、健康管理や安心感の追求のために個人の意思で受ける人間ドックなどのことです。全額自己負担(または会社の補助)となりますが、自分の受けた最新の検査を自由に選べるという特徴があります。人間ドックでは、国が推奨するがん検診以外にも、検診機関が独自に選択して提供している検査があります。なかには科学的根拠が曖昧な検査もありますから、事前によく説明を受けてから検査を受診するかどうかを決めて下さい。

■宮城県の対策型胃内視鏡検診の特徴

宮城県では2019年度に仙台市と大衡村で胃内視鏡検診が開始され、その後、実施地域が拡大してきました。2026年度には県内24市町村で実施されており、今後さらに導入地域が増える予定です(図を参照)。地元の医療機関で胃内視鏡検診が受けられない自治体の場合には、バス送迎して宮城県対がん協会がん検診センターで検査を受けることができるようになっています。胃内視鏡検診の対象年齢や実施体制は地域によって異なりますので、お住まいの自治体に確認してください。

宮城県の胃内視鏡検診の大きな特徴は、皆さんが検診を受けた医療機関の内視鏡画像を全て宮城県対がん協会に設置したデータサーバにオンラインで集めて、専門医がダブルチェックを行って見落とし防止や検査精度の向上に努めていることです。また、検査医の技術や診断の質についても継続的な評価が行われています。これにより、宮城県の胃内視鏡検診は極めて良好な成績をあげています。

宮城県の胃内視鏡検診の実施状況 (2027年度開始予定自治体を含む)

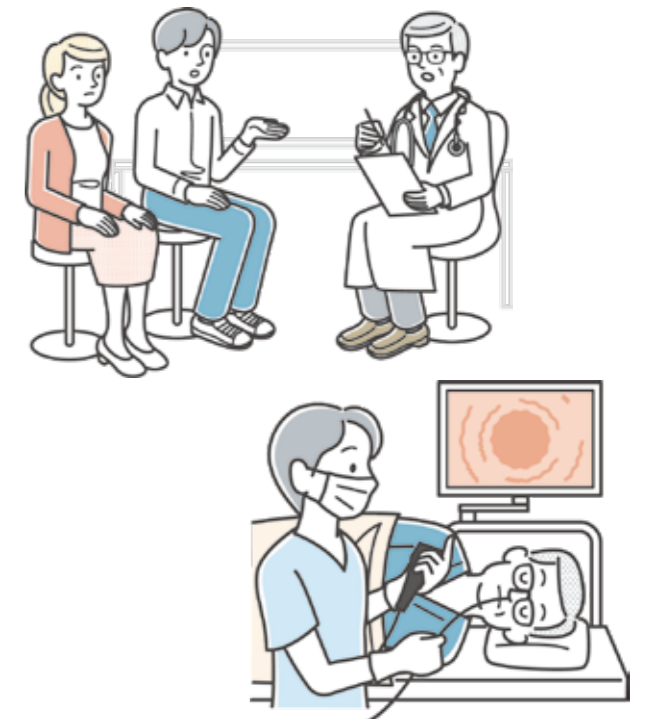


■胃がんから命を守るために

宮城県は全国的にもみても胃がんの罹患率や死亡率が比較的高い地域です。そのため、胃がんから命を守るためには、症状がないうちに定期的に検診を受けることが重要です。

胃内視鏡検診は精度の高い検査ですが、胃カメラが苦手な方や実施地域にお住まいでない方は、これまでどおり1年1回の胃エックス線検査を受けることもできます。どちらの検査であっても、定期的に受診することが大切です。

胃がん検診は、「病気になったから受ける検査」ではありません。「病気で命を落とさないために受ける検査」です。症状がない今だからこそ、ぜひ自治体から届く検診案内に目を通し、ご自身やご家族の健康を守るために胃がん検診を受診してください。



宮城県対がん協会の人工知能(AI)を活用した 胃内視鏡検診

公益財団法人
宮城県対がん協会

がん検診センター副所長
浅沼 清孝



近年、人工知能(AI)の技術は急速に発展し、今では誰もが身近に利用できる時代となりました。AIはこれまでも何度か注目を集めてきましたが、現在の大きな発展を支えているのが「Deep Learning(ディープラーニング)」という技術です。これは、コンピューターが大量のデータをもとに、自ら特徴やルールを学習していく技術で、人では気づきにくい特徴まで見つけ出せるようになりました。この技術の進歩によって、AIは急速に進化しています。

こうしたAIの進歩は医療分野にも広がり、特に画像診断の領域で活用が進んでいます。消化管領域では、AIは胃カメラ画像から胃がんを高い確率で素早く見つけることができる、胃の中を限なく撮影できるよう支援してくれる、大腸ポリープの発見を補助できるなど、医療の質を示す研究が発表されました。こうした研究成果を背景に、2018年には本邦で世界初となるAI診断支援機能付き大腸内視鏡システムが発売されました。当初は限られた機能でしたが、その後改良が進み、現在では大腸ポリープの発見を支援するなど、実際の診療現場で広く活用できるシステムへと発展しています。上部消化管内視鏡の分野では、2022年に富士フィルム社より、食道や胃の腫瘍が疑われる病変を認識する機能と、撮影部位を記録する機能を備えたAI画像診断支援システム「CAD EYE」が発売されました。当院では2024年4月の新センター開設とともに導入しました。さらに2025年3月には、病変をより正確に認識できる「CAD EYE Version 2」が発売されました。この新バージョンでは、病変を見逃さない能力を維持しながら、病変以外には過剰に反応しない性能の向上が目的で、当院でも2025年5月から運用を開始しています。実際に使用してみると、従来版と比べて誤った検知が大きく減少し、検査がより行いやすくなったと感じています。

2025年12月時点で、このCAD EYEシステムを用いた上部内視鏡検査は11,191件に達し、そのうちVersion 2は6,266件で使用されました。そして、これまでに、食道が

ん26件、胃腫瘍313件(胃がん212件、胃腺腫88件など)を発見しました。また、胃の生検の実施率が、Version 1使用時の9.4%から、Version 2では6.5%へ低下しました。一方で、胃腫瘍の発見率には差がみられませんでした。これは、AIの性能向上によって、より正確に病変を判断できるようになった可能性を示していると考えられます。

当協会では、開設以来、胃検診を中心とした検診事業を行ってきました。そして2019年度からは、仙台市および大衡村において胃内視鏡検診を開始しました。胃内視鏡検診では、検査を行った医師とは別の専門医が画像を確認する「二次読影」がとても重要で必須となっています。この二次読影とは、撮影画像が適切か、食道・胃全体が十分に限なく撮影されているか、そして病変の見落としがないかを確認する作業であり、検診の質を保つために欠かせません。しかし、胃内視鏡検診の普及によって受診者数が増える一方で、二次読影を担当する医師の負担増加が課題となっています。そこで当協会では、AIメディカル社と共同で、上部内視鏡画像の撮影部位を自動判定し、さらに画像が適切に撮影されているかを評価するAIシステムの開発を進めてきました。このシステムは、胃検診における二次読影医の負担軽減につながることを期待されています。さらに現在、日本医療研究開発機構(AMED)の支援を受け、AIを活用した上部内視鏡検査が、胃内視鏡検診における二次読影の代替となり得るかを検討する多施設共同研究にも参加しています。この研究成果は、将来の胃内視鏡検診のあり方を大きく変える可能性があります。

現在のAI内視鏡システムは、AIだけですべての病変を自動的に見つけるものではなく、AIと内視鏡医が協力しながら病変を発見していく「支援型」のシステムです。今後も、こうしたAI技術を適切に活用しながら研究を重ね、新たな知見を積み上げることで、県民の皆さまへ、より質の高い胃検診を提供していきたいと考えています。

新乳がん検診車 命名披露式

公益財団法人日本財団2025年度助成事業により作製された乳房集検用デジタル検診車「すみれ10号」が、2026年6月に完成いたしました。これに伴い、6月11日に宮城野分室にて命名披露式が執り行われました。

今回はフラットパネル方式撮影装置に加え新たに多言語X線検査支援システムが搭載された、最新のデジタル医療システムを導入した検診車となりました。文字、画像、音声によって受診者様へ撮影案内を行うことができるほか、英語、中国語、韓国語をはじめとした多言語、手話にも対応しており、高水準の乳がん検診が期待できるだけでなく、受診者様の多様性にも対応できるようになりました。

今後も質の高い検診により、県民皆様の健康保持に役立つよう努めてまいります。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2026みやぎ開催決定!

がんになっても住みよく、自分らしく生きられる地域を作ることを目的とし、がん患者や支援者、地域住民を対象として情報発信や交流活動を行っているリレー・フォー・ライフ・ジャパンみやぎが、今年も青葉山公園仙臺緑彩館を会場に開催されます。

日時は2026年10月3日(土)12時~4日(日)12時まで。恒例のウォークイベントやミニナリエ(LED灯籠)、がん患者やその家族、支援者などの講演や、交流スペースを設ける他、音楽演奏などのステージイベントも開催されます。是非ご参加ください。

リレー・フォー・ライフ・ジャパンみやぎでは寄付を募集しており、集まった寄付金は、必要経費を除き日本対がん協会に寄付されます。なお、当日は、参加寄付金として1,000円が必要となります(がんサバイバーと高校生以下は参加寄付任意)。

【昨年の様子】



※昨年周辺地域に熊出没警報発令があり一部内容の変更があったため、今年も当日の状況に合わせて内容の変更の可能性があります。

2026年度 公益財団法人宮城県対がん協会主催 「がん講演会」のご案内

- 日時** 2026年9月29日(火)
14:30~15:30
- 会場** 仙台市シルバーセンター
(仙台市青葉区)交流ホール
- 演題** ※乳がんをテーマにした
講演を予定しております
- 講師** 原田 成美(はらだ なるみ)先生
東北大学大学院医学系研究科
乳腺・内分泌外科学分野 准教授
- 受講者** 約150人予定(県民一般)
- 入場料** 無料(事前申し込み不要)
- 備考** パネル展同時開催

※内容については変更になる場合がございます。

2026年度「がん征圧スローガン」が決定しました!



がん検診 定期受診は 自己投資

千葉県支部 公益財団法人ちば県民保健予防財団 診療看護課 児山 さやか さん作



AIに 聞くより先に がん検診

青森県支部 公益財団法人青森県総合健診センター 事業部健診管理課 田中 亨 さん作

症状が 出てない今こそ がん検診

栃木県支部 公益財団法人栃木県保健衛生事業団 管理部健康情報課 木村 高幸 さん作

健康を 未来へつなごう がん検診

埼玉県支部 公益財団法人埼玉県健康づくり事業団 総務部総務課 竹田 まなみ さん作

事業所検診の事例紹介 宮城中央ヤクルト販売株式会社 様

当協会では市町村に出向いて検診を行うほかに、お勤め先へ検診車を配車してのがん検診も行っております。今回は4月に行われた宮城中央ヤクルト販売株式会社様でのレディース検診(乳がん検診+子宮がん検診)の事例をご紹介します。

宮城中央ヤクルト販売株式会社様は「健康」を扱う企業として、女性社員が安心して長く働ける環境づくりを重視しておられます。当協会との関わりとしては2016年度(2017年2~3月)より検診車による乳がん検診を行っており、2025年度より子宮がん検診も導入していただきました。ご担当者様からは「予約から当日の実施、結果のフィードバックまでが非常にスムーズで、管理者側として負担が少ない点が大変助かっています。また、受診した従業員からは“待ち時間が短くスムーズに終わる”“仕事の合間に受診できるのがうれしい”といった声を聞いております。これからもお客様、従業員ともに健康に生きていただくためにヤクルトと検診は欠かせないものだと思いますのでよろしくお願いいたします」とのうれしい声をいただきました。

これからも宮城中央ヤクルト販売株式会社様の健康のお手伝いをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



総務部広報チーム 左から 佐藤様 松崎様

■ 検診をご検討されている事業所ご担当者様

ぜひ当協会でご検診を実施しませんか?検診車を職場へお持ちして検診を実施させていただきますので詳しくは下記までお問い合わせください。(実施には条件がございます。)

計画課:022-263-1535

黒川利雄がん研究基金

■ 2026年度助成対象研究者決定

「黒川利雄がん研究基金」は、がんの予防及び早期発見・治療に関する開発等に携わる若手研究者に対し研究助成を行うことを目的に平成元年に創設され、2026年で37回目となりました。2026年1月から3月までの期間で全国に公募をしたところ、10件の応募がありました。

4月21日に「研究基金」の運営委員会を開催し、申請者の研究内容を慎重に審議した結果、2026年度の研究者は下記の4名と決定いたしました。今年度の研究助成額は220万円で第1回から数えると150名の研究者に対してこれまで、総額

9,550万円の研究助成金を贈呈いたしました。

研究助成金の贈呈式は、去る6月5日仙台市内の会場で行われ、当協会の下瀬川徹会長からの挨拶で始まり、運営委員会の正宗淳委員長から選考までの経過報告があり、加藤勝章がん検診センター所長から研究者を紹介いたしました。

続いて下瀬川徹会長より、研究者1人ひとりに研究助成証書と助成金が贈呈され、さらに黒川先生が座右の銘としていた「山上に山あり 山また山」を刻んだ石版が贈られ、最後に研究者を代表して畑中里衣子先生より謝辞が述べられました。

■ 2026年度「黒川利雄がん研究基金」助成対象研究主題及び研究者一覧

(申請順 敬称略)

	研究主題	研究者氏名	所属	交付額
1	マルチオミクス解析を用いた乳癌サブタイプ別網羅的分子機序の解明	昆 智美 (34歳)	東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野	45万円
2	日本人における肥満・代謝異常の集積とがん発症リスクとの関連	畑中 里衣子 (44歳)	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構	65万円
3	腫瘍内容液と血中の同期メタボローム解析による子宮内膜症関連卵巣がんの発がん予測モデルの構築	清水 孝規 (41歳)	東北大学大学院医学系研究科 婦人科学分野	45万円
4	インスリン抵抗性関連胃癌の病態解明と新規治療法の開発	田邊 瑞樹 (34歳)	東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野	65万円

※年齢、所属は2026年3月31日現在(申請時)



黒川記念室を見学する研究者



贈呈式会場での記念撮影
後列左より布田事務局長、正宗委員長、加藤がん検診センター所長、伊藤細胞診センター所長
前列左より昆先生、畑中先生、下瀬川会長、清水先生、田邊先生

2025年度がん教育事業終了

当協会では2025年度も宮城県より委託を受け、県内の大学・専門学校、事業所に向けて出前講座を実施しました。がん教育事業は、がんの予防、がんという病気そのものに対する理解を深め、「がんになっても安心して暮らせる社会」を構築するため、がんに関する正しい知識の普及啓発を行うものです。

近年、若年期女性の子宮頸がんの罹患数増加は顕著であるにもかかわらず、検診受診率は低い状況にあり、対策を講じる必要性が高いことから、県内の大学等に通う女子学生を中心に、がんに関する正しい知識と予防、がん検診の重要性に関する普及啓発を行いました。講師は、ブルーム女性クリニック仙台駅東口院長の志賀尚美先生、仙台赤十字病院産婦人科部長の佐藤多代先生、中川記念ちか子女性クリニック院長の岡村智佳子先生、おざわ女性総合クリニック院長の小澤信義先生、当協会細胞診センター所長伊藤潔先生にご協力いただきました。

講義では延長されたHPVワクチンキャッチアップ接種にも触れ、講義時2回目、3回目の無料接種期限が2026年3月末までと迫っていたため、対象となる学生が講義を機にワクチン接種を検討する姿もみられるなど、学生にとって非常に有意義な講義となった様子でした。

また、働き盛り世代は就職後にがん教育を受ける機会が少ないため、県内事業所職員の皆様を対象に、がんについての知識とがん予防、がん検診の重要性、がん治療と仕事の両立支援について普及啓発を行いました。講師には、宮城県産業保健総合支援センターの先生をお招きし、当協会保健師と一緒に講演を実施しました。

今後もがん教育によって、より多くの方に対してがんに関する正しい知識の普及啓発を行い、大学生等に対しては若年期女性の子宮頸がん検診の受診率向上に繋がるよう努めていきます。



志賀 尚美 先生 佐藤 多代 先生



岡村 智佳子 先生 小澤 信義 先生



伊藤 潔 先生



事業所向けがん教育

産業保健総合支援センター

2025年度がん教育事業実施大学・専門学校

学校名	講師	実施日	聴講数
仙台医療・スポーツ専門学校	ブルーム女性クリニック仙台駅東口 院長 志賀 尚美	12/4(木)	55名
尚絅学院大学	仙台赤十字病院産婦人科 部長 佐藤 多代	12/9(火)	14名
仙台医療福祉専門学校	中川記念ちか子女性クリニック 院長 岡村 智佳子	12/10(水)	51名
宮城学院女子大学	宮城県対がん協会 細胞診センター 所長 伊藤 潔	12/11(木)	58名
仙台白百合女子大学①	おざわ女性総合クリニック 院長 小澤 信義	12/18(木)	19名
東北福祉大学	おざわ女性総合クリニック 院長 小澤 信義	12/18(木)	48名
東北生活文化大学	中川記念ちか子女性クリニック 院長 岡村 智佳子	1/9(金)	35名
仙台白百合女子大学②	仙台赤十字病院産婦人科 部長 佐藤 多代	1/16(金)	7名

(短縮講義実施校)

※東北文化学園大学では、講義時間短縮での実施希望のため、当協会看護師から事業所用の内容を編成して講義を実施

東北文化学園大学	宮城県対がん協会 看護課 齋藤 千晴	11/27(木)	55名
----------	--------------------	----------	-----

2025年度がん教育事業実施事業所

事業所名	実施日	聴講数
株式会社 アキヤマ	1/27(火)	29人
株式会社 MKアシスト	2/5(木)	19人
共進電機工業株式会社	2/17(火)	12人
塚田電気工事株式会社	2/18(水)	12人
株式会社 友善商事	2/18(水)	18人
株式会社 日本微生物研究所	3/6(金)	10人

対がん協会PR活動報告

新聞、TV、ラジオ、学校教材など、2025年度末は複数の媒体で協会のPRをしていただきました！ご協力くださいました関係各社の皆様、ありがとうございました。

●ミヤギテレビ「OH!バンドス」

(3月31日(火)放送)

“健康プロジェクト「ビッグデータで新たに判明!『宮城の診断書』をちょいのぞき”のコーナーで、宮城県のがん検診、主に胃がん検診について加藤所長が解説いたしました。

“宮城県民は胃がんの罹患率が高いのに治療にかかっている医療費”が安いのはなぜなのかを切り口に非常にわかりやすくご紹介いただきました。



(ミヤテレMOTTO
[https://www.mmt-tv.co.jp/movie/articles/jk9mi0b7fxyi6usk.html])
※掲載終了の場合あり

●仙台つーしん

(第1弾:3月31日(火)、第2弾:4月11日(土)、第3弾:4月15日(水))

※3回掲載



仙台の地域情報発信サイト“仙台つーしん”でタレントの本間秋彦さんにご協力いただき、がん検診センターにお越しいただき、新しくなった検診センターの紹介とがん検診の重要性、すい臓がんリスク検査についてPRしていただきました。仙台つーしんのwebサイト(https://sendai-tushin.jp)、X(旧twitter)、Instagramにて紹介動画、PR記事を公開しています。

※期間限定配信の予定

●仙台市 小学生のためのお仕事ノート

(2026年3月発行)

文部科学省が推進するキャリア教育の副教材として小学校3・4年生に配布される「仙台市小学生のためのお仕事ノート(2026年度版)(発行:株式会社中広メディアソリューションズ)」に協賛いたしました。今回はがん検診の結果が自宅に届くまでを紹介し、働く人の声として情報システム課の萩原泰明さん、検査課の後藤由美さんが仕事の内容ややりがいについてお話ししました。



●tbc東北放送ラジオカー

(3月19日(木))

tbc東北放送ラジオ「GOGOはみこい ラジオな気分」内ラジオカーのコーナーで、がん検診センター2階「消化器内視鏡検診センター」が紹介されました。

tbc東北放送 西村美穂アナウンサーから加藤所長へインタビューをしていただき、内視鏡検査の最新事情と検診の重要性についてご紹介いただきました。



●河北新報「キャラクターがいっぱい」

(1月1日(木)第2朝刊掲載)

当協会のマスコットキャラクター「がん助くん」と「グー子ちゃん」が、元旦の河北新報に掲載され、がん検診の受診を呼びかけました。

このキャラクターは宮城県の鳥である「雁」と「癌」をかけていて、毎年越冬のため長旅する力強さから、がんに負けない願いを込めています。「がん助くん」は、がんから助ける、「グー子ちゃん」は、雁の英語表記の「Goose(グース)」に由来しています。



※キャラクターについてはともしび161号で紹介しております。

●長田広告株式会社

「フードコートデジタルサイネージ」

(1月1日(木)元旦から放映開始) ※掲載終了時期未定

2025年10月にオープンしたばかりのイオンモール仙台上杉のグルメアリーナ(フードコート)に設置されているデジタルサイネージにて、当協会の告知がスタートしました。徒歩圏内の立地のため、周辺地域の皆様に当協会での健診・検診受診を周知していきます。





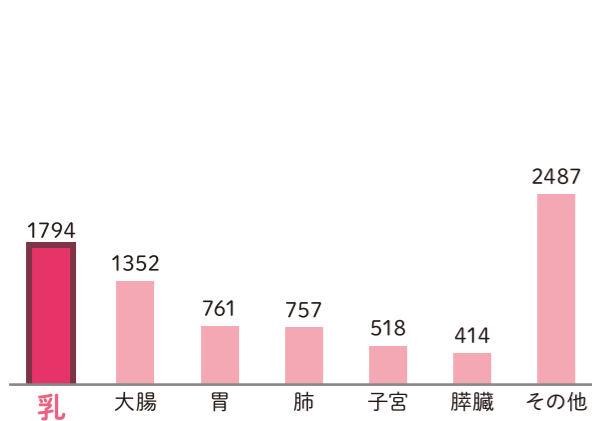
乳がんについて知りましょう

乳がんについて、女性のがん罹患は第1位ですが、一方で死亡数については第4位で、がんの中では比較的治りやすいがんの一つです。

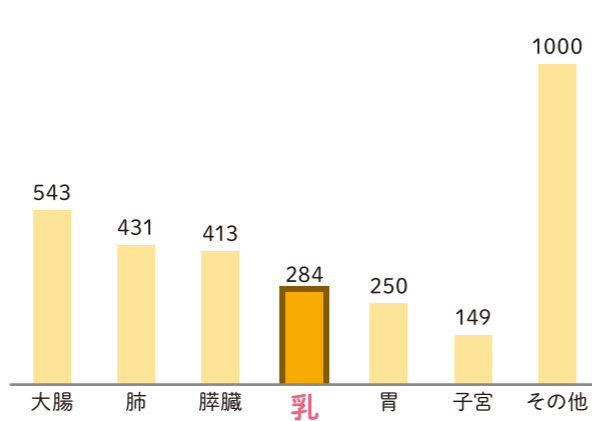
発症の年代は幅広く、30歳代から増加し始め、40歳代から50歳代でピークになり、多くの女性が発症しています。

乳がんは、日頃から自分の乳房の状態を知り、変化に早く気づくことで発見できる可能性のあるがんであるため、乳がんを正しく理解し、がんから身を守りましょう。

●宮城県の部位別がん罹患数(令和3年)女性



●宮城県の部位別がん死亡数(令和6年)女性



データからみたまやぎの健康 令和7年度版 ~宮城県保健福祉部~

国で推奨する乳がん検診

●マンモグラフィ(X線検査)

乳房専用のX線検査装置で、乳房を片方ずつ2枚の板で挟んで、できるだけ平たくして乳房全体を撮影します。手で触れてもわからないしこりや石灰化を見つけます。乳房の圧迫時間は数十秒ほどです。ただし、妊娠中は受けられません。

2名の専門医が画像を読影して判定します。



精密検査に該当したら必ず検査を受けましょう

●検査内容

- マンモグラフィの追加撮影
- 超音波(エコー)検査:横になり、乳房の上から超音波をあて、しこりの形や周りの状態などが不規則ではないかなど、乳房の状態を調べます。
- 細胞診・組織診:マンモグラフィや超音波検査で乳がんが疑わしい部位に針を刺して、細胞や組織を採取して調べます。



ブレスト・アウェアネスのすすめ

ブレスト・アウェアネスとは『乳房を意識する生活』で、女性が乳房の状態に日ごろから関心を持ち、乳房の変化を感じたら速やかに医師に相談することです。4つのポイントを意識して、実践しましょう!

Point 1 普段の自分の乳房を知る

入浴やシャワーの時、着替えの時など、ちょっとした機会に自分の乳房を見て、触って、感じてみましょう。



Point 2 乳房の変化に気をつける

「いつもと変わりがいいか」という気持ちで取り組みましょう。

ポイントとしては

- ・乳房のしこり
 - ・乳房の皮膚のくぼみやひきつれ
 - ・乳頭からの分泌物
 - ・乳頭や乳輪のただれ
- などになります



Point 3 変化に気がいたらすぐ医師に相談する

変化に気づいたら、次の検診を待つことなく専門の医療機関(乳腺外科等)を受診しましょう。また、大丈夫だろうと安易に自己判断することなく専門医の診察を受けましょう。



Point 4 40歳になったら定期的に乳がん検診を受診する

乳がん検診の目的は、乳がんでなくなる女性を減らすことです。現在、乳がん検診(マンモグラフィ)は死亡率を減少させることが科学的に証明された検診です。

「要精密検査」という結果を受け取った場合には必ず精密検査を受けるようにしましょう。



がん・生活習慣病健診オススメオプション

すい臓がんリスク検査のご紹介

採血で結果が分かる簡単な検査です。

アポリポ蛋白A2 (APOA2) アイソフォーム検査と
CA19-9の併用法によってすい臓がんのリスクを判別する検査です。 **5,500円** (税込)

CA19-9は腫瘍マーカーの一つですが、APOA2-i Indexによる判定結果とCA19-9の測定結果を組み合わせることにより、相補的にすい臓がん患者を判別できると言われています。

～すい臓がんリスク検査の流れ～

- 採血での検査です。
 - 検査は、「APOA2-i Index」「CA19-9」2種類の濃度を測定して判定します。
 - 精密検査に該当した場合は、東北大学病院の膵臓外来に紹介となります。紹介状や外来受診の方法などについては、当方で手続きいたしますので、結果通知書をご覧の上ご方へご連絡いただきますようお願いいたします。*
 - 精密検査は、腹部超音波検査、造影CT、腹部MRI、超音波内視鏡、内視鏡的逆行性胆管すい管造影などを行います。
- ※他の医療機関への紹介を希望される場合はご相談ください。

～アポリポ蛋白A2 (APOA2) アイソフォーム検査とは～

- APOA2アイソフォームは、すい臓のがん診断補助に用いられる腫瘍マーカーです。
- 血液中にあるAPOA2というタンパク質には主に3つのタイプ(アイソフォーム)があり、健康な人はそのバランスが一定に保たれています。
- すい臓がんになると、このバランスが崩れてきます。
- APOA2アイソフォーム検査は、このバランスを示す指標「APOA2-i Index」を用いて判定を行います。
- 従来の腫瘍マーカーとは異なる物質を測定するため、これまで検出されなかったすい臓がんを見つけられる可能性があります。



一度検査されたことがある方も
毎年の検査を推奨しています。

■がん・生活習慣病健診と組み合わせなくても単独での申込も可能です。

【協会けんぽ加入者の皆様に朗報】

協会けんぽ人間ドック健診が始まりました！

全国健康保険協会(協会けんぽ)では35歳以上の被保険者に対し、2026年度4月より「人間ドック健診」を新設。定額25,000円が補助されます。

宮城県対がん協会では、**40,700円(税込)の人間ドック項目が、自己負担15,700円(税込)(補助適用後)で受診できます。**

ぜひこの機会に、人間ドックをご受診ください。

(これまで同様一般健診の受診も可能です。詳しくは、協会けんぽのホームページなどをご確認ください)

公益財団法人宮城県対がん協会 ドック推進課 TEL022-263-1528

宮城県がん総合支援センター

～宮城県から委託を受けて宮城県対がん協会内に設置しています～

がんに関する心配ごとや悩みに専門の相談員が応じます。 **相談無料**
ひとりで悩まず、お話ししてみませんか？

ご本人、ご家族、どなたでもご相談ください。(個人情報厳守します)



がんなんでも相談

- 相談方法** 電話、面談(要予約)、メール、手紙、FAX
TEL 022-263-1560 FAX 022-263-1548
メール zaitaku-gan@miyagi-taigan.or.jp
(ホームページの相談フォームをご利用ください)
- 相談受付** 月曜日～金曜日(祝日・休日、年末年始は除く)
午前9時～午後3時30分まで
- 費用** 相談にかかる費用は無料です。(通話料は相談者の負担となります。)
- 住所** 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉5-7-30 宮城県対がん協会内

※必要な場合は適切な窓口を紹介します。
※症状や病気に係る診断や治療について判断することはできません。
※個人情報は厳守いたします。



がん相談の他に…

《がん患者会の支援》



「がん患者会・サロン ネットワークみやぎ」の事務局を担当しています。
現在 31 団体が加入していますので、患者会の活動についてもお伝えします。

《がんピアサポーターの育成》

がんのピアサポーターとは「がんを体験した人同士がピア(仲間)として体験や悩みを共有し、ともに考え、がん患者さんや(またはその家族)を支援(サポート)する人のことをいいます。研修会の開催や病院等での実習を行っています。

新がん検診センター建設募金

■職員

布田直樹

篤志寄付金

株式会社デンコードー、高橋内装、
三井住友海上あいおい生命保険株式会社、
あいおいニッセイ同和仙台支店プロ会、
あいおいニッセイ同和損保仙台支店、
積水ハウス株式会社仙台支店、株式会社大林組、
永窪紀代美、センター募金箱

黒川利雄がん研究基金

齋藤千晴、及川貴司、永窪紀代美、伊藤尚人、
熊谷和夫、村上裕重、盛田美樹、布田直樹

賛助会費

■特定

カガワ印刷株式会社、有限会社タノウチ印刷、
七十七リース株式会社、株式会社七十七銀行、
株式会社仙台銀行、有限会社村山自動車、
コヤマリネン株式会社仙台事業所、
株式会社イト、チバ器械株式会社、
同和興業株式会社、同和警備株式会社、
協業組合仙台清掃公社、社の都信用金庫、
株式会社バイタルネット、
カイゲンファーマ株式会社仙台営業所、
オリオシステム株式会社、株式会社ビー・プロ、
株式会社トヨタレンタリース宮城、
宮城トヨタ自動車株式会社、

ホロジックジャパン株式会社、コセキ株式会社、
株式会社熊谷組東北支店、
堀井薬品工業株式会社、
伏見製薬株式会社仙台営業所、
株式会社シバタイムテック、東邦薬品株式会社、
株式会社アイクリーン、デュプロ株式会社

■医師会

塩釜医師会

今井信行、多賀城腎・泌尿器クリニック、
渡辺眼科、藤野整形外科、
公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院、
(医)こがね雅会 こがね医院、笠神ハートクリニック、
医療法人 及川内科医院、山田内科医院、
青葉台クリニック、医療法人 社団中正会 本間医院、
医療法人社団 赤石会 赤石病院、
医療法人社団 俊仁会 ウィメンズクリニック利府、
医療法人社団 杉山内科、
じょうなんファミリークリニック、
医療法人 社団関口内科胃腸科医院、
大井皮フ科泌尿器科、
医療法人社団 喜英会 加瀬クリニック、
医療法人 友仁会 松島病院、無量井泰、
医療法人 寶樹会 仙塩利府病院、塩竈市立病院、
(医)中山クリニック、米地真、
塩釜医師会消化器部会、山田憲一内科医院、
さわおとクリニック

仙台市医師会

松尾けんこうクリニック、
いのうえ小児科クリニック、今村茂、森洋子、
医療法人社団 仙台北クリニック、
本多博、佐藤英幸

大崎市医師会

医療法人 高橋医院、(医)鎌田内科クリニック

石巻市医師会

大街道じゅんクリニック、よしろう内科、土井洋、
しらゆりクリニック、高橋邦広、田中典和、
石巻診療所、いしのまき矢吹クリニック、古山元之、
やまもと産婦人科、いしのまき山本クリニック、
二宮健次、箕田紳一郎、中浦内科医院、阿部雄悟、
相沢正孝、坂井武昭、こばやし医院、佐藤景、
佐藤内科医院、茜平クリニック、
佐久間眼科小児科医院、鈴木廣、荒井啓史、
伊藤内科クリニック、齋藤潔、川村尚道、
川原田博章、久門俊勝、おおば小児クリニック、渡辺充

気仙沼市医師会

村岡外科クリニック、医療法人 移川哲仁会、
医療法人 尚仁会 森田医院、ささはら総合診療科、
あいざわクリニック、大里胃腸科内科婦人科医院

名取市医師会

桑島一郎

亘理郡医師会

みやぎ南部整形外科クリニック

■宮婦連

塩釜市地域婦人団体連絡協議会

三浦あいこ、佐々木和恵、小野和恵、小野秀子、
我妻キクエ、鈴木綾子、大野照子、阿部豊子、
中村和子、浅野ひろ子

築館婦人会

築館婦人会、長谷川美子、千葉真理子、千葉とみ子

松島町婦人会

宮地域婦人会

菅野しのぶ、高田幸子、阿部暢枝、我妻美枝子

気仙沼市婦人会連絡協議会

■個人

金野多江子、中村繁子、渡部英夫、尾坂芳夫、
櫻田良子、久保田光子、村上裕重、阿部洋、
加藤玲子、三塚篤

■職員

田名部朋子、布田直樹、中川朋美、及川貴司、
小笠原渉、守谷崇、盛田美樹



寄付のご紹介

あいおいニッセイ同和仙台支店プロ会 様
あいおいニッセイ同和損保仙台支店 様
三井住友海上あいおい生命保険株式会社 様

2025年12月11日、がん検診センターにて、125,310円のご寄付をいただきました。こちらのご寄付は上記団体様の、「お客様を守る」「地域に貢献する」活動の一環で、あいおい生命の医療保険・ガン保険・介護保険の販売件数により地域団体に寄付するという取組です。

がんやがん治療に関する正しい情報の提供、早期診断・早期発見の為の健康診断の推進に活用させていただきます。

ご寄付、ありがとうございました。



賛助会員（個人・法人の継続寄付）を募集しております。

当協会では、がんに関する正しい知識の普及啓発、がんの早期発見・早期治療のための調査研究等の事業を行っています。このような事業活動は皆様からの尊い寄付により支えられています。

なお、寄付金については**税制上の優遇措置**を受けることができます。**個人**の方からの寄付金は、所得税において優遇措置対象となり、寄付者の方は確定申告の際に従来の「**所得控除**」と「**税額控除**」の**いずれか有利な方を選択**して控除を受けることができます。**法人**の寄付金に対する優遇措置としては、「**特定公益増進法人**」に対する寄付に該当しますので、**法人税法上の規定による限度額が損金**として認められます。



寄付金の種類

- **賛助会員寄付** 協会の活動をご支援いただき、毎年ご寄付をしてくださる方
 - 個人会員 1口 1,000円以上の寄付者(個人)
 - 法人会員 1口 10,000円以上の寄付者(団体・法人)
 - 特定維持会員 寄付金の額を定めて「がん征圧運動」に一層の協力支援をいただいている法人
- **篤志寄付** 協会の活動に対する一時的な寄付金
- **黒川基金** 黒川利雄がん研究基金のためにと使用を指定した寄付金

がん征圧に向けた、あたたかいご支援ご協力をお待ちしております。
ご寄付のお申込、お問い合わせは下記までお願いいたします。



公益財団法人 宮城県対がん協会 法人総務課 法人事業係

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5-7-30

TEL ☎ **022-263-1637** FAX 📠 **022-263-1548**

【受付時間】月～金 9:00～17:00(土日・祝日・休日は除きます)

E-mail ✉ houjin@miyagi-taigan.or.jp HP 🖨 <https://miyagi-taigan.or.jp>



HPIはこちらから